

# 2018 年度事業報告

自 2018 年 10 月 1 日

至 2019 年 9 月 30 日

一般社団法人 日本野球機構

日本野球機構は、野球が我が国の社会的な公共財であるとの認識の下、これを普及して国民生活の明朗化と文化的教養の向上をはかるとともに、野球事業の推進を通してスポーツの発展に寄与し、我が国の繁栄と国際親善に貢献することを目的としています。下記は、いずれもこの共通の目的を達成する手段であり、2018年度における実績を記したものです。

## ◆ 2018 年度に実施した主な事業のトピックス

### 《公益目的事業》

#### ・「プロ及び学生による共同普及振興事業」

NPB、大学野球、高校野球が手を組んで普及振興策の議論を進める過程で提案された「野球触れ合い体験事業（U-18、東大、京大等との共同事業）」が実施されました。この画期的なイベント等の実施により、今後さらに NPB や個別プロ球団と学生が協力した普及振興事業の取り組みが進み、両者の共同事業が全国各地で展開されることが期待されます。

#### ・「野球普及振興活動状況調査」

二年に一度実施している「野球普及振興活動状況調査」の調査結果を NPB のウェブサイトにて初めて公開しました。ここではプロ・アマによる普及振興活動の現状を明らかにしており、今後の普及振興策のあるべき姿をプロ・アマが協力して考えていくのに役立ててまいります。

なお、今回の調査では日本野球協議会に参加するプロ・アマ全16団体から 5,183 事業、延べ参加人数 2,646,651 人の活動報告を得ています。

#### ・「ベースボール型授業研究会」

2012年の開催から 109 回を実施し（2016年から本格的に日本各地で開催）、延べ 5,500 人の教職員が参加。今年度は 32 会場、約 1,400 人が参加しました。今後も全国での受講者拡大を目指してまいります。

#### ・「野球競技者登録システム」

普及振興活動の指標となる野球競技人口の把握に向けたシステム開発については、早期導入に向けてアマチュア各団体との調整を行っています。

#### ・「調査・研究（ゲームオペレーション委員会）」

プロ野球の試合進行をスピーディーに行う取り組みとして試合時間の短縮化に取り組んでいますが、今季は3時間16分となり、昨期に比べて 3 分長くなりました。リクエスト制度の導入等が主な要因となっており、これらを踏まえ引き続き対応を検討してまいります。

### 《収益事業等》

#### ・公式戦や日本シリーズ等の開催とそれらに伴う事業については計画通りに遂行いたしました。

東京五輪が開催される2020年の日程対策については、自国開催という五輪優先のスケジュールの中、プロ・アマが全面的に協力し、試合数や各大会がそれぞれ例年通りに実施される日程の策定を行いました。

#### ・国際大会に関する活動としては、2019年3月日本代表強化試合（対メキシコ）を実施いたしました。

・プロ野球ファンへのサービス向上、プロ野球の訴求力向上そして新たな収益源確保のため e スポーツ事業を実施いたしました。具体的には、2つの e スポーツ大会を開催し、プロ野球オフシーズン（2018 年 11 月～2019 年 1 月）に「eBASEBALL パワプロ・プロリーグ2018（NPB・コナミ社の共催）」、また 2019 年 5 月に「NPBe スポーツシリーズ スプラトゥーン2（NPB 主催）」を開催いたしました。年間を通してプロ野球の新たな楽しみ方の提供と幅広い層へのプロ野球の遡及を行いました。また、2019 年 5 月に 2 シーズン目となる「eBASABALL プロリーグ 2019」（2019 年 11 月～2020 年 1 月）の開催発表を行いました。

### 《その他目的を達成するために必要な業務》

・暴排活動等においては中央協議会の開催、春季キャンプでの講習のほか、不当要求防止マニュアルの作成、反社チェックシステムの導入、オールスターゲームでのチケット転売調査を実施しました。

- ・職員向けの研修をより充実化させました。階層別研修としてコミュニケーション研修、人事評価研修、全職員向けに Excel 研修を実施しました。また、コンプライアンス研修(各部署単位)を実施しました。
- ・また危機管理対応の強化策として、安否確認システムの安定運用を実施しました。
- ・NPB リプレイ検証制度「リクエスト」の運用検証による更なる向上を目指したリニューアルを実施しました。

## ◆ 実施事業の詳細

### 《 公益目的事業(野球振興事業) 》

#### 【野球振興事業の実施】

◇NPB12球団ジュニアトーナメント2018supported by 日能研の開催

- ・2018年12月27日(木)～29日(土) 札幌ドーム

◇NPBガールズトーナメント全日本女子学童軟式野球大会開催

- ・2019年8月2日(金) 開会式 坊っちゃんスタジアム(愛媛県松山市)
- ・2019年8月3日(土)～8日(木) マドンナスタジアムほか愛媛県内6会場

◇教員のための「ベースボール型」授業研究会の開催

「みんなが輝く やさしいベースボール型事業」指導用教材(DVD付)を使用し、球団からの講師派遣協力を得て日本各地で野球方授業研究会を開催。小規模開催としては、2018年10月～2019年9月で全国22府県、教員を目指す大学生を対象に東海大学、東京女子体育大学での実施を含め計32会場で開催し、約1,400人の教員、大学生が参加した。

◇野球指導者講習会(BCC)の開催

(一財)全日本野球協会と共催してアマ指導者向けの講習会を開催。

- ・2019年1月11日(金)、12日(土)、13日(日) 国立オリンピック青少年総合センター

◇学生野球資格回復制度の運営

プロ野球出身者が学生野球を指導する際に必要となる資格の得喪管理と研修会の実施・運営。

・NPBプロ研修会

2018年12月14日(金) 東京都内

・学生野球研修会

2018年12月15日(土)・16日(日) 東京都内

◇侍ジャパン「野球指導者スキルアップ講習会」の開催

日本代表経験のある元プロ野球選手及び有識者による小中学生の軟式野球指導者を主な参加対象とした講習会を実施。合計329名が参加。

- ・2018年12月1日(土) 秋田市立秋田商業高等学校
- ・2019年1月26日(土) 松山市松山中央公園坊っちゃんスタジアム
- ・2019年2月9日(土) 千葉市・ZOZOマリンスタジアム

◇未就学児等低年齢児童に対する野球ふれあい体験事業

大学生及び高校生野球部員とNPB、プロ球団アカデミーが共同して低年齢児童との野球ふれあい体験教室を実施。NPB、プロ球団と学生野球が「野球の普及振興」を目的に取り組む画期的な事業で、前期の2018年7月に東京大学、8月にU-18侍ジャパンキッズアカデミーからスタート。今期は12月に京都大学、同志社大学、立命館大学による幼児を対象とした「野球触れ合い教室」を開催。2年目となる東京大学、U-18侍ジャパンとの事業も継続実施した。

- ・2018年12月22日(土) 京大野球スポーツデー野球教室
- ・2019年6月30日(日) 「東大スポーツデー」 東大球場
- ・2019年8月26日(月) 「U-18侍ジャパンキッズアカデミー」 明治神宮球場

◇学生&プロ共同普及振興活動

12球団と大学、高校が共同で普及振興活動に取り組むことが可能となったことを受け、申請・承認業務を行い、本年度は6事業が実施された。

#### ◇初心者向け審判講習会

新規事業。審判員としての活動に興味を持つ人、子どもの試合等で審判を行う保護者を対象にした初心者向けの講座を開設。東京都と愛媛県で開催。定員50名に対し、東京会場では約200名からの申込みがあった。

- ・2018年11月24日(土) 東京・明治神宮外苑室内球技場
- ・2019年1月27日(日) 松山市・松山中央公園坊っちゃんスタジアム

#### ◇公式記録講習会

高校野球の全国大会開催直前にアマの公式記録員に対して記録解釈に関する講習会をNPB記録員が実施。記録をつける上で誤りやすいプレイについて実際の映像を用いて説明、解説した。

- ・2019年3月22日(金) 選抜高等学校野球大会公式記録員対象 毎日新聞大阪本社
- ・2019年8月5日(月) 全国高校野球選手権大会公式記録員対象 朝日新聞大阪本社

#### ◇未就学児への普及活動用教本の制作

未就学児への普及活動用教本および補助資料となるリーフレット2種(30,000部)を制作。NPB球団の保護地域である11都道府県下にある幼稚園、保育園等計約18,700園全てに制作物を送付した。

### 【研究・調査】

#### ◇試合時間短縮化実現に向けた取り組み(ゲーム・オペレーション委員会)

- ・試合時間計測・分析

リクエスト制度の導入と投球間隔の延長、5回裏終了時のインニングインターバルの伸延により、平均試合時間が前年比3分増となる。

- ・ゲームオペレーション・ブックの発行

2019年版を作成し、12球団および審判部他へ配布。試合時間短縮化に向けた意識付け等啓蒙活動を継続実施。

- ・スピードアップ表彰

スピードアップに貢献したチーム、投手、打者をセ・パ両リーグからそれぞれ1名を選出して、「スピードアップ賞」を贈呈。

#### ◇日本野球協会「普及振興活動状況調査2018」

昨年度実施したNPB12球団及びプロ野球関係団体、(一財)全日本野球協会加盟の全アマ団体へ野球に関する普及・振興事業の実態調査について報告書を取りまとめ、webサイトに公開した。

◇中期経営計画小委員会における指針である野球振興策の方針を補完する及び検証するためのデータ・情報獲得を目的に外部業者によるアンケート調査等を実施。

#### ◇NPB 新公認バット規定

### 【復興支援事業】

#### ◇東日本大震災および寄付活動

マイナビオールスターゲーム2019において、東日本大震災での避難者招待企画及びチャリティーオークションを実施

#### ◇東日本大震災復興支援野球教室の開催(被災地で野球教室等)

- ・2018年 NPB 東日本大震災復興支援事業(岩手県)

12月12日～14日にプロ野球OB・現役選手が岩手県岩泉町・田野畑村・普代村にて小中高 合計5学校への学校訪問。夢に向かって努力する事の大切さについての講話を実施。また2019年7月5日に陸前高田市の高田高校海洋システム科で同様の内容を実施。7月には併せて小中学生の指導者を対象として指導者講習会を座学と実技で2日間に及び35名を対象に実施。並行して市内小中学生を対象にプロ野球6球団のOBが講師を務める野球教室を陸前高田市立高田第一中学校で実施した。

- ・東日本大震災復興支援事業「NPBベースボールフェスタin浪江町 十日市祭」

2018年11月23・24日に福島県浪江町の地域祭「十日市祭」に参加し、体育館内で野球殿堂博物館から選手のユニフォームや国際大会での優勝トロフィーなどを展示。また子供達が遊べるようにふわふわ遊具やTボール・スタンプラリーなど各種のアトラクションを用意し、2日間で約3,000人の来場があった。

### 【助成事業】

◇日本野球機構補助金規程に則り、野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体を対象とした寄付金、助成金事業の実施と対象団体の実施事業の検証作業。

- ・公益財団法人野球殿堂博物館
- ・公益社団法人全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)
- ・公益財団法人日本野球連盟(JABA)
- ・NPO法人アオダモ資源育成の会
- ・一般社団法人全日本女子野球連盟

### 【アマチュア球界との交流】

◇日本野球協議会の運営

日本野球機構と(一財)全日本野球協会で構成される日本野球協議会の各種委員会等において協議を行った。

- ・幹事会
- ・運営小委員会
- ・各委員会(普及・振興、侍ジャパン強化、マーケティング、オペレーション、国際)
- ・その他各種部会

◇日本代表 U-12、15、18、大学、女子への肘検診導入、実施

日本野球協議会施策として「野球健康診断」フォーマットを作成し、BFJと共に各世代への検診を導入した(NPBエンタープライズ協賛)。

◇日本代表チーム(U-12、15、18)での医師帯同を実現

日本野球協議会施策として、BFJと共に各世代の世界大会に帯同医師を派遣することを実現した(NPBエンタープライズ協賛)

◇プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の開催

- ・2018年12月8日(土) 石川県・小松市弁慶スタジアム
- ・2018年12月16日(日) 奈良県・橿原市佐藤薬品スタジアム

◇野球規則委員会においてプロ・アマ合同でルール研究会を実施

- ・プロ・アマ審判技術専門部会の開催
- ・第18回プロ・アマ審判学校を開催

### 【国際交流】

◇WBSC(世界野球ソフトボール連盟)への協力活動

◇国際試合の招致活動(2019年3月メキシコ代表招致)

◇国際審判員、技術員として、NPB審判員及び審判指導員を各種国際大会に派遣

◇野球指導教材外国語版を使用し、国際協力機構(JICA)との連携を図り、海外での野球普及活動支援。

### 【新人選手・プロ野球選手OBへの取り組み】

◇新人選手選択会議(ドラフト会議)、育成選手ドラフト

- ・2018年10月25日(木)に実施

◇新人選手研修会

- ・2019年 1月11日(金)に実施

◇セカンドキャリアサポート事業

- ・フェニックス・リーグ参加の現役選手への意識調査を実施
- ・退団者の動向調査を実施

・セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL」の編集および発行◇支配下10年以上養老補助制度事業

◇退団選手一時金制度の実施

◇監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12球団と協力して加入促進活動と基金への申込取次を実施

### 【球界内への取り組み】

- ◇野球協約の発行及び解釈に沿っての紛争解決
- ◇日米間、日韓間、日台間など、NPBと外国プロ野球組織との間の選手契約協定に従い、ルールの解釈、身分照会、紛争処理の実施
- ◇審判員の育成、研修
  - ・NPBアンパイア・スクールの開催
  - ・審判員のトレーニング実施(米国審判学校への派遣)
  - ・研修審判員のトレーニング実施
- ◇NPB選手関係委員会と選手会との事務折衝
- ◇2019年公認野球規則の編集および発行と配布

### 【NPB 医事委員会活動】

- ◇脳振とうガイドラインの策定と運用
- ◇アンチ・ドーピング講習会の実施

## 《収益事業等(野球奨励促進事業)》

### 【プロ野球公式戦の開催とそれに伴う業務】

- ◇2019年シーズン試合日程の編成、発表
- ◇パシフィック、セントラル野球連盟年度連盟選手権試合運営管理
  - ・公式戦における試合日程、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ウェスタン、イースタン・リーグ年度選手権試合運営管理
  - ・公式戦における試合日程管理、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇選手登録の管理運営
  - ・選手登録・異動手続、FA日数管理
- ◇非公式試合(教育リーグを含む)管理
  - ・日程発表・管理 審判派遣、審判経費処理
- ◇みやざきフェニックス・リーグ運営管理
  - ・試合日程作成・発表 宮崎市との運営連携 参加球団との連絡
- ◇NPB AWARDS 2018の開催、パートナーパーティーの実施
- ◇記録達成時表彰、記者投票による表彰の管理
- ◇各リーグアグリーメントの発行
- ◇イースタン・リーグ観戦ガイドの発行
- ◇グリーンブック2019(セントラル野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ブルーブック2019(パシフィック野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇両連盟選手権試合へのNPB契約審判員、記録員の派遣業務  
(日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュオールスターゲームは当法人の主催試合)

### 【試合の主催、開催支援、運営】

- ◇ファーム日本選手権の開催
  - ・2018年10月6日(土) 宮崎県・KIRISHIMA サンマリンスタージアム宮崎にて開催
- ◇日本選手権シリーズの開催
  - ・2018年10月27日(土)からマツダスタジアム、福岡ヤフオクドーム、にて開催  
三井住友銀行が冠協賛社となり、「SMBC日本シリーズ2018」として開催
- ◇フレッシュオールスターゲームの開催
  - ・2019年7月11日(木) 楽天生命パーク宮城にて開催
- ◇オールスターゲーム(12球団共催)の運営「マイナビオールスターゲーム2019」として開催

- ・2019年7月12日(金) 第1戦:東京ドーム
- ・2019年7月13日(土) 第2戦:阪神甲子園球場
- ◇国際試合における開催支援
- ・2019年11月11日(月)～2019年11月17日(日) 2019WBSC プレミア 12 の開催支援
- ◇二次映像等の使用許諾管理・NPB管理試合における映像二次使用管理業務◇グッズの制作、販売管理
- ・NPBが運営する大会のオリジナルグッズ制作・販売
- ・NPBショップ運営管理
- ◇NPBマークの管理および球団およびメーカーへの手配・販売
- ◇NPB CIC(写真素材管理サービス)の運営管理・改善業務とファンへのオールスター写真販売
- ・プロ野球9球団がNPB CICを利用中
- ・2019年1月 選手写真から選手名のAI児童推定サービスのリリースと特許取得

#### 【国際大会の運営、参加】

- ◇新しい国際大会「アジアプロ野球チャンピオンシップ」の主催
- ◇日本代表チームを編成、派遣

#### 【試合以外の収益確保】

- ◇新たな収益源となるビジネスモデルの立ち上げの考察
- ◇12球団との会議の開催、運営、案件とりまとめ
- ◇12球団プロパティ、選手肖像の管理業務代行
- ◇プロ野球データ活用プラットフォーム NPB BIP(Baseball Data Innovation Platform) 1.0 版の運用と利用社促進
- ◇e スポーツ事業「eBASEBALL パワプロ・プロリーグ 2018(NPB・コナミ社共催)」の開催と運営・2018年11月10日(土)～12月9日(日)eBASABALL ペナントレース開催・2018年12月16日(日) eリーグ代表決定戦・2019年1月12日(土)SMBC e日本シリーズ
- ◇e スポーツ事業「NPB e スポーツシリーズ スプラトゥーン2(NPB 主催)」の開催と運営・2019年3月3日(日) eドラフト会議・2019年4月14日(日) オープン戦
- ・2019年5月18日(土)、19日(日) 本大会
- ◇e スポーツ事業「eBASEBALL プロリーグ 2019(NPB・コナミ社共催)」の開催発表と運営
- ・2019年6月10日(月) 2019シーズン開催発表
- ・2019年7月22日(月)～8月31日(土) プロテスト期間
- ・2019年9月16日(月/祝) eドラフト会議

#### 【記録データの管理】

- ◇公式記録の作成、管理、運用
- ・非公式戦、公式戦への記録員の派遣
- ・2018年公式戦、日本シリーズ及びオールスターのスコアカードの電子化作業
- ・オフィシャルベースボールガイド2019、ブルーブック、グリーンブック等各種出版物の作成
- ・公式記録をベースボール・インフォメーション・システム(BIS)検索サービスで提供、速報記録等のメディア配信
- ・1950年代の過去データのBISへの入力作業

## 《その他目的を達成するために必要な業務》

#### 【広報・PR活動】

- ◇NPBイベント広報対応、取材・会見対応、プレスリリース配信

- ◇プロ野球取材 ID 発行・管理
- ◇オフィシャルベースボールガイド2019の発行
- ◇公式ホームページ、SNS 等での情報発信
- ◇公式フォトの管理
- ◇公式プログラムの監修(オールスターゲーム、日本選手権シリーズ)
- ◇NPBプロモーション映像制作(球場ビジョン用)
  - ・開幕前に「ドンマイマイフレンド」「野球場へゆこう」の映像制作。12球団フランチャイズ球場で放映
- ◇NPBスローガンキャンペーン(映像、ポスター制作)
  - ・開幕前に映像、ポスター制作。12球団フランチャイズ球場、地方球場、マスコミ等で放映・掲出
- ◇NPB手帳制作
- ◇12球団ファンブックへの広告掲載
- ◇SRORTEC for LEISURE&GAME 2019(2019年5月22日～24日)にNPBブースの出展

#### 【検査および調査】

- ◇公式戦使用球(統一球)検査
- ◇折損バットの調査

#### 【暴排活動等】

- ◇プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会を開催
- ◇春季キャンプ中に全選手を対象に有害行為防止講習を実施
- ◇有害行為防止のポスター、小冊子を作成
- ◇みやざきフェニックス・リーグでの暴排講習を実施
- ◇反社チェックシステムの導入
- ◇オールスターゲームにおけるチケット転売調査実施

#### 【会員間の連絡、親善】

- ◇12球団役職員名簿の制作、配布
- ◇NPBマーク、商標権の管理

#### 【NPB組織強化】

- ◇適正な労務管理実施に向けた施策の検討
- ◇職員向け各種研修(階層別として、コミュニケーション、人事評価。全職員向けとして、Excel、コンプライアンスなど)の実施
- ◇内部監査の徹底

#### 【地球温暖化防止活動「グリーンベースボールプロジェクト」への取り組み】

- ◇公式戦などで出場者がグリーンリストバンド着用することによる活動PR
- ◇グリーンリストバンドを販売し、売り上げを植林活動へ寄付

#### 【アンチ・ドーピング活動】

- ◇アンチ・ドーピング選手手帳の制作・配布を通じた啓発活動
- ◇ドーピング検査の実施

#### 【NPB リプレイ検証制度「リクエスト」】

- ◇初年度の運用(結果)を検証した上でリニューアルし、2年目のシーズンを迎えた。

以上